



休止中のメタキシレン生産装置の再稼働について

 三菱ガス化学株式会社

2016年8月18日

三菱ガス化学株式会社（本社：東京都千代田区、社長：倉井 敏磨、以下「当社」）は、休止中のメタキシレン（以下「MX」）生産装置1系列を2017年3月より再稼働いたします。

MXの主要用途である高純度イソフタル酸（以下「PIA」）は、年率4～5%程度で安定して伸長しており、それに伴い、MX需要も伸びが見込まれます。

当社では、2013年11月以降、PIAの原料であるMXの生産装置（生産能力2系列計22万T/Y）のうち、1系列（同7万T/Y）を休止しておりましたが、同業他社がMX生産装置を停止したため供給量が減少し、MXの需給バランスは引き締まっております。

そのため当社は、休止中のMX装置1系列を、現在稼働中の装置（同15万T/Y）の定期修理明けにあわせ、2017年3月より再稼働することといたしました。

この再稼働により、当社は増加するMX需要に対応してまいります。

記

現行装置の生産能力	:	15万T/Y
再稼働装置の生産能力	:	7万T/Y
再稼働後の合計生産能力	:	22万T/Y



再稼働するMX生産装置

以上

〈本件に関するお問い合わせ先〉
広報IR部 TEL：03-3283-5041